

令和3年度木津川市一般会計補正予算
第8号（専決処分）について（概要）

総務部財政課

令和3年度補正予算第8号は、令和3年11月19日に閣議決定された経済対策として、子育て世帯に対し臨時特別給付金を年内に児童1人あたり5万円を支給することとされたことにより、緊急に予算措置をする必要があるため、令和3年度一般会計補正予算第8号として予算を編成し、専決処分を行ったものである。

予算案の主な概要

1 補正予算の規模

8億3,240万2,000円

補正後の予算額 345億9,792万4,000円

2 専決処分日 令和3年11月19日

3 補正予算の内容

(1) 子育て世帯への臨時特別給付金

給付金8億2,500万円、事務費740万2,000円

【特定財源：国庫10／10】

(2) 支給対象者

平成15年4月2日～令和4年3月31日までに生まれた児童を養育している保護者

※保護者の所得が児童手当（本則給付）の支給対象となる金額と同等未満の場合

(3) 給付額 児童1人あたり一律5万円

(4) 支給時期

児童手当受給対象の方には12月から順次案内の上、支給を開始、児童手当受給対象以外の方には、申請により、可能な限り速やかに支給。

令和3年度一般会計補正予算第8号 施策の概要

(単位:千円)

科 目	款	項	目
所 事	記載例		当該補正予算において、新たに予算事業名称を作成したものを「新規」とし、それ以外のものは、原則、「継続」としていま
市総合計 (基本計) の位置付け			
事業期間		新規・継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府 市債 その他 一般財源
補正前			
補正額			
補正後			
補正予算額 の主な内訳	金額の表記は、原則として、費目ごとの補正額を記載し、()内に補正後の予算額を記載していますが、予算の使途を明確にするため、事項ごとに費目ごとの金額を記載している場合もあります。その場合は、その事項に相当する補正後の金額を()内に記載しています。		
主な特定財源			
政策を必要とする背景及び提案の経緯	年度によって変わるものではない当該事業の基本情報を記しています。 (補正予算の特徴等を記しているものではありません。)		
市民参加の状況			
将来にわたる効果等			

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童措置費
所 管	健康福祉部 社会福祉課					
事 業	3449 児童手当支給事業費					
市総合計画 (基本計画) の位置付け	【基本方針1 ともに「学び」「喜び」「成長し」未来を生きる子どもを育むまちづくり】 政策分野1 子育て 施策①子育て支援					
事業期間			新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	1,590,883	1,129,307	228,459			233,117
補正額	832,402	832,398				4
補正後	2,423,285	1,961,705	228,459			233,121
補正予算額 の主な内訳	パートタイム職員報酬:732千円増(3,284千円)、職員手当:2,509千円増(4,117千円)、社会保険料82千円増(426千円)、パートタイム職員通勤費用弁償:26千円増(136千円)、消耗品費:52千円増(306千円)、印刷製本費:211千円増(580千円)、通信運搬費:1,612千円増(4,141千円)、口座振込手数料:1,089千円増(1,267千円)、電算システム等委託料:1,089千円増(2,079千円)、子育て世帯への臨時特別給付金:825,000千円皆増 ※新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、子育て世帯に対して、臨時特別給付金として児童1人あたり5万円を支給(所得制限有)					
主な特定財源	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費国庫補助金:825,000千円 子育て世帯への臨時特別給付金給付事務費国庫補助金:7,398千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	次代の社会を担う児童の健やかな育ちを社会全体で応援することを目的として、児童手当を支給する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						